

平成30年高野町成人式

祝 新成人おめでとう

公民館だより

高野町中央公民館
☎ 56-2076
高野町教育委員会
☎ 56-3050



應地 大貴・田中 亮権・牧野 晃大・下垣内 祐多・浦木 奏汰・門谷 貴也・前 享志郎・亀位 斉正・研谷 祐樹・川崎 恭平
上西 翔也・牧野 優人・下名泊 里奈・清原 佳愛・岸本 菜摘・西垣内 和・下垣内 実穂・苗代 莉枝・上西 悠斗・森岡 伸哉 (敬称略)



実行委員長…岸本 菜摘
実行委員…上西 翔也、上西 悠斗、
下垣内 祐多、前享志郎、
牧野 優人
司 会…下垣内 祐多、牧野 優人
成人の誓い…前 享志郎

今年の成人式も新成人らが企画・運営
を行う実行委員形式で行われ、式典進行
役として下垣内 祐多さんと牧野 優人
さんが司会を務めました。
新成人を代表し、前 享志郎さんが「新
成人としての門出を迎え、多くの方々か
ら頂いた教訓を胸に、責任ある社会の一
員として貢献できるよう精一杯努力して
いきます。」と力強く述べました。
また、自己紹介では、ひとりひとりが
マイクを持ち、家族や見守ってくださつ
た地域の方々への感謝の想いや、将来の
夢について語ってくれました。

去る、平成30年1月8日(月)、高野
町中央公民館において高野町成人式が
行われました。本年の新成人は32名男
子23名、女子9名)で、成人式には20
名(男子14名、女子6名)が出席し、
人生の大きな節目を迎えました。

第17回

和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

2月18日(日)
午前11時スタート

本年も、紀三井寺公園陸上競技場から和歌山県庁前までの21.1km (10区間)をタスキでつなぐ「第17回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会」が開催されます。

今年は、総勢13名で、厳しい寒さの中、少しでも上の順位を目指し一生懸命練習に取り組んでいます。高野町の代表とし、タスキをつなぎ走る子どもたちに、町民皆様の熱い声援をお願いいたします。



高野町ジュニア駅伝チームメンバー

高野山小学校	5年生	楠 徳子	高野山中学校	1年生	上田 桃菜
	5年生	白濱 妃織		1年生	工藤 龍源
	5年生	橋詰 青空		2年生	石堂 美優
	5年生	平野 悠真		2年生	林 ひな
	5年生	前西 空弥		2年生	佐藤真太郎
	6年生	土生川真子		3年生	三谷 康世
	6年生	相馬 康佑			

2018年の目標



高野山小学校5年 楠 徳子

私の今年の目標は、勉強とスポーツを頑張ることです。なぜかという、私は少し勉強が苦手だからです。私は、とくに算数が苦手なので頑張りたいです。そのために家庭学習を毎日取り組みたいです。また、国語は漢字が苦手なので頑張りたいです。その他にも、テストで100点を取ること今年の目標です。いつももったいないミスをしてしまうことがあるので、しっかり見直しをして100点が取れるようにしたいです。スポーツで頑張りたいと思っているのは、走るごとと水泳です。私は走ることが好きで、去年もマラソン大会や駅伝の練習を一生けん命がんばりました。次はジュニア駅伝もあるので、選手として参加することができるように走る練習をしたいです。水泳は、パタフライや背泳ぎを頑張って、校内水泳大会や橋本市・高野町の水泳記録会でも良い記録を取りたいです。

2018年に頑張る目標



高野山小学校5年 新家 聖喜辰

2018年の1つめの目標は、本をたくさん読むことです。家で、学校でも、本をたくさん読もうと思います。僕が主に読む本は歴史の本です。歴史の人物で一番すごいと思った人物は、江戸幕府の最後の将軍、徳川慶喜です。徳川慶喜は大政奉還をしたのがすごいと思います。次に僕が好きなのは織田信長です。織田信長は安土城を築いて、天下布武の印鑑を作り、賞状にその印鑑をついたりしていました。本をたくさん読むと漢字や難しい言葉が覚えられるので、たくさん読もうと思います。2つめの目標は、字を書きれいに書くことです。僕は字が書けないので、つねに書くことを意識しながら字を書こうと思います。今はまだ、字が書けないので6年生になるまでに、字をていねいに書けるようにしたいです。

2018年の目標



高野山小学校5年 角濱 芙蓉

私の今年の目標は、習字と水泳、勉強を頑張ることです。私は、習字と水泳を習っています。習字は、書初会まで一度、特賞賞をとったことがあったので、次からもう、いい賞を取りたいと思って習い始めました。せっかく習っているの、いつでも誰にでもわかりやすい綺麗な字を書くようにしたいです。水泳は、パタフライや平泳ぎなど、上手くなって、タイムが速くなったらいいなと思ったので始めました。今年も校内水泳大会や高野・橋本の水泳記録会に向けて頑張ります。他には、テストで100点を取らん取りたいです。特に、私は算数が苦手なので、算数の勉強を頑張りたいです。100点を取るために、学校や塾だけでなく家でたくさん算数の問題に取り組もうと思います。今年是最高学年にもなるので、自分の目標が守られるように意識して学校生活を送りたいです。

私の目標・将来の夢



高野山小学校6年 土生川 真子

今年の私の目標は、第一志望の中学校へ合格することです。私は低学年の頃から塾へ通い始め、学ぶということの楽しさを知り、もっと難しい問題にチャレンジしたい、もっと多くの知識を得たいと思うようになりました。そこで、志高く自分の可能性を広げる環境に行きたいという強い思いから、受験勉強に全力で頑張りました。最後までやり遂げ、夢への第一歩を踏み出したいです。私の将来の夢は、外交官になり、国際社会で活躍できる立派な女性になることです。私は、幼い頃から語学に興味があり、早く英語を学び、活用したいと思っていました。次第に何力国語も身に付け、世界の舞台で仕事をしたいと思うようになりました。その夢をかなえるために、充実した中学校生活を送り、より一層学業へ邁進していきたいです。

2018年の目標



高野山小学校5年 尾西 太智

僕の2018年の目標は、「続けていくこと」「それよりもっと努力すること」です。例えば、塾での成績が3番以下にならないようにする。そして、めったに1番をのがさない方がいいので、その子を残してゆくことが目標にあります。勝てた時は気持ちよくすごしたいです。でも続かなくて、くやしいます。きつと相手も同じように負けたくないという気持ちを持っているんだと考えてがんばろうと思います。つられるし面倒だし嫌になる時もあるけれど、「自分に甘くなるのは一番かんたんで情けないんだよ」とお母さんに言われます。情けないという言葉を言われたくありません。だから「続ける努力」をしたいです。あとは、いろんなボードゲームに挑戦することが目標です。ボードゲームの楽しさは、それぞれのルールをしっかりと理解して、より多くの種類のコマを覚えておくことで勝負負けが決まる所です。今は日本のものしかしていませんが、海外のゲームにも挑戦しようとしています。

今年の目標



高野山小学校5年 大西 朋生

2018年、今年の目標は3つあります。1つ目の目標は人に優しくすることです。この目標にしようと思った理由は、今年は6年生になるので、もう少し低学年に優しくしたいと思ったからです。また、今年は集団登校の班長になるので、低学年を引っ張って行きたいです。2つ目の目標は、本をもっと読みたいと思います。僕は、元々本が好きだったので今年も色々な本を読みたいと思ったからです。3つ目の目標は、もう少し体を動かしたいです。低学年の時は長い休憩時間は外で遊んでいたのに、高学年になってからは小籠にまわって外で遊ぶ時間が少なくなってしまったからです。でも少なくなったとしても2日のうち1日は、ロング休憩に外で遊びます。でも外で遊ぶことが減って体力も落ちてきたので、小説を読むのは短い休憩だけにして、もっと外で遊びたいと思います。

今年頑張ろうと思うこと



高野山小学校5年 汲原 世成

僕が、今年頑張ろうと思うことは、算数の勉強と体育です。何故頑張ろうと思ったかと言うと、僕は算数と体育が苦手だからです。算数では頑張りたい事が2つあります。1つは計算ミスをしないうこと、もう1つは簡単な問題を解きながらに気をつけることです。この2つを直せるように頑張りたいです。体育では頑張りたい事がありません。僕は、縄跳びが好きだと苦手で。小さい頃は、ほんとどとべなかつたけど、練習してだんだんとべるようになりました。でも、まだ引っ掛かってしまうこともありました。大縄跳びは、みんなで跳ぶので、あまり引っ掛らずに跳べるようになりたいのと入る時のタイミングを合わせるようにこれからも練習を頑張りたいです。水泳も苦手なので、今年にはビート板を使わずに泳げるようになりたいです。また、けのびもできるように頑張りたいです。この事をできるようにするために、こつこつ練習していきたいです。

小学校生活最後に頑張りたいこと



高野山小学校6年 矢形 優果

私は、小学校生活が最後なので、楽しく過ごして行きたいです。小学校の行事で、遠足や秋の運動会、修学旅行などが残る楽しいものになりました。残りの行事は、雪上運動会と学習発表会です。これらも、楽しい思い出にしたいです。新年の目標は、勉強や運動を全力で取り組むことです。そして、思い残すことなく最高の小学校生活にして、中学校へと進みたいです。そうすれば、中学校へ行っても、同じように、頑張れると思います。それと、今までは友達を助けることが少なかったのですが、もっと友達を大切にしていきたいです。そして友達と一緒に勉強や運動をがんばりたいと思います。

2018年の目標



高野山小学校5年 堀田 瑠美奈

私の今年の目標は、ピアノをがんばる事です。私は、4年生の時がピアノを習っています。ピアノを習いに行く時に使う楽譜がのっている本は2冊あって、その中にある曲を練習しています。私はまだ、それらの曲をあまりひけないので、もっと練習して早く全部の曲をひけるように頑張っているところです。私が習っているピアノ教室では、発表会に出ることがあります。発表会は、1年に2、3回あります。発表会の曲は、練習で使っている本の中から選びます。発表会の曲は、難しいので、まずは、片手ずつひく練習をしてから両手の練習につづります。今年は「腕助美や民謡」という曲で発表会に出ます。この曲は、音符を読むのも難しく練習が大変です。また、まだまだ上手ひけるので、速さもゆっくりになってしまいます。だから、もっと練習をして速くひけるように努力をしています。発表会をするけど、ひき間違いないように、ふだんから練習を頑張りたいです。

2018年よろしくお祈いします



高野山小学校5年 中村 太一

あけましておめでとうございます。ぼくの今年の目標は、3つあります。1つ目は、字を書きれいに書くことです。理由は、ぼくは、字が書けないからです。通知表で、字を丁寧に書くという欄もあまり成績が良くなかったので、次は「よくできる」に印をつけてもらえるように頑張ります。2つ目は、姿勢を正しくして勉強に取り組むことです。理由は、授業中に姿勢がだらしないとかよく注意されるからです。でも、今年は姿勢を正しくすることを意識して頑張ります。3つ目は、足を速くすることです。理由は、今年のマラソン大会は、小学校生活最後のマラソン大会になるからです。今までの毎年のマラソン大会では、順位は25位ぐらいでした。今年のマラソン大会の目標は、20位以内になることです。そのためにもぼくは、毎日トレーニングをしたいです。この3つ目の目標を達成するために頑張ります。

2018年を迎えて



高野山小学校5年 橋詰 青空

2018年をむかえて、僕は、がんばりたい目標があります。それは、野球です。僕は、習い事で野球をしています。野球は、2年生の時ぐらいから始めました。今年、僕たちは6年生になるので、6年生になったら、5チームで戦う公式戦で優勝したいです。野球には6年以下が出来るA級、5年以下が出来るB級、4年以下が出来るC級があります。その大会では、他のチームに負けてしまい悔しい思いをしました。だから、今年は優勝したいと思っています。そのためには練習をしっかりと頑張らないといけません。ぼくは、いつも守備をする時のポジションは、ピッチャーとキャッチャーです。ピッチャーの練習をする時にコントロールが乱れて上手くピッチングができなかったで、今年、コントロールを整えることを意識して頑張りたいです。そしてキャッチャーをする時は、ピッチャーの投げた球がショパンになってしまった時に、後ろにそらしてしまふことがあるので、体で止めて捕まわりたいようにしたいです。練習をする時にもこのような目標を持って頑張りたいです。そして、公式戦で特にA級で優勝することを目指します。

2018年をむかえて



高野山小学校5年 林 宙輝

僕の今年の目標は、2つあります。1つ目は、字を丁寧に書くことです。理由は、いつも宿題やノートの字を急いで書いてしまつて、雑になっているからです。だから、今年は、他の人が見ても分かるような、きれいな字を書きたいです。もう1つの目標は、僕はじゅくに行っているのですが、そのじゅくのテストで、毎回70点以上取ることです。普段は60点ぐらいです。じゅくは、週3回ほど行っています。1回の時間は、約3時間です。科目は、水曜日算数、金曜日理科で、土曜日は算数と国語があります。いつも終わった時は、とても疲れます。そして、1か月に1回、日曜日は、模試という大事な時があります。その時はいつも緊張しています。でも、たくさん勉強を頑張って、成績を上げたいです。学校の勉強も頑張ります。

2018年の目標



高野山小学校5年 白濱 紀織

今年の私の目標は、習字で「特待生」になることです。私は字を書くことが好きで、2年生から習字を習い、今まで頑張ってきました。私の習っている習字では、9級から上になっていき初級になることさらに10段まであり、特待生は10段を超えた人しかありません。特待生になることは、私にとって夢であり、目標です。ですが、だんだんと上と比べて行く度に難しくなり、最近あまり昇格が出来なくなっています。そして年に2回ある、春と秋の昇級試験がチャンスで、それだけは逃さないように頑張っています。今、私は6段で、特待生まではまだ先が長いですが、いつも「頑張らない」と思っているが習いに行っていますが、結果が返って来ると、前の方に私が載っているのに昇格できなくて、悔しかったのを感じています。だから私の今年の目標は、習字に力を入れて、今年より頑張ることです。



大人のサンわく学実施報告 ～弘法大師ゆかりの地を訪ねて in 京都～

去る、11月27日(月)、大人のサンわく学研修を実施しました。今年度は、お大師様とゆかりのお寺が多い京都へ行きました。バスでの移動中高山大学名誉教授 山陰加春夫先生に参拝する寺院について解り易く説明して頂きました。

初めにお大師様が作ったと言われている「腹帯地蔵」が安置されている京都最古の寺院の広隆寺を訪ねました。国宝第一号の「弥勒菩薩半跏思惟像」を拝観し参加者の皆さんは微笑んだ表情に大変魅了されていました。

次はお大師様の坐像を安置している仁和寺です。寺院のご配慮で、僧侶の方に御殿内の宸殿で寺院の歴史などお話し頂き、皆さん熱心に耳を傾けていました。宸殿の中も案内して頂き、王朝時代の美しい螺鈿細工、鮮やかな襖絵を見学し、又宸殿の前面に広がる庭園は大変優雅で古い歴史と格式を感じられました。

最後は、金閣寺(鹿苑寺)です。お大師様が作られたといわれる秘仏の石不動明王が不動堂に祀られています。公民館運営審議委員会 東山会長の ご配慮で特別拝観することが出来ました。漆塗りに金箔を張った豪華な造りの舍利殿、柿葺の屋根の上には鳳凰が輝いていました。鏡湖池に風雅な姿を映し出している「さかさ金閣」を遠く見ることが出来ました。参加者の皆さんは、金閣寺の美しさにとても感激し雅な時間を過ごしました。たくさんの方の国宝、文化財にふれ有意義な研修となりました。



「縁」を開所し、早一年が経ちます。「縁」を大いに利用していただき、公民館が人と人、人と地域を結ぶコーディネーターとしての役割を担い、それぞれの地域のニーズに合った公民館活動の展開が望まれるところでもあります。皆様との協力を願い、活力あるコミュニティと魅力ある街づくりを目指したいと思います。ますます健康を意識して、健康に関わる知識やスキルを求めることが重要です。私たちは公民館活動を通して、支援いたします。「いたすらに過ぎるす月日の多けれど道も求める時ぞ少なき」 道元 本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。



第42回 文化表彰式

平成29年11月3日の「文化の日」に文化表彰式が中央公民館で行われ、受賞者に高野町文化協会 徳富義明会長より賞状並びに記念品が授与されました。



【文化賞】道上 敏子様 高野町高山在住 『書道・俳句を通して公民館活動に協力』

〈書道〉尋常小学校の担任の先生の影響で書道を学び、筆を持って「字」を書くことが好きな子供でした。就職、結婚、子育てを経て、50歳過ぎから習字を本格的に習いはじめました。当時中央公民館には書道教室があり、初代の杉本先生が指導されていました。以後、田中先生、前先生、岩田先生、現在の秋山先生と初回より熱心に参加し歴代の先生方に手ほどきを受け、楷書・行書・草書はもとより隷書・篆書の書体も見事に書かれ、書道はご自身の生涯学習の一つとして取り組まれています。又数々の作品展に出展されていて、特に文化祭作品展には毎年力作を出展し、文化協会に協力して頂いています。

○高野町文化祭作品展
○金剛峯寺読書大会
○高野町老人クラブ連合会作品展
〈俳句〉俳句とは、五・七・五の「韻律」で詠まれる定型詩です。2005年、高山山全国大会をきっかけに心惹かれ習いはじめました。山陰石楠(俳号)先生に教授して頂き、日々俳句作り楽しんでます。道上さんの作品は、「藍生俳句会」(主宰 黒田 杏子氏)の部集や「金剛俳句会」の句集に記載されています。

- ＊金剛合同句集「紀の川」より道上さんの俳句をご紹介します
・山雀に年玉木の実ひとつかみ
・木の間から凍る朝日や西行堂
・根深汁ちちの輪越えははも越え
・春雪に山一変す転衣式

【文化功労賞】梶谷 隆一様 高野町東富貴在住 『富貴特産の「薄板」の魅力を広めたい』

現在国内では、数軒のみと考えられる「薄板」づくりに携わって45年余になります。富貴の木材加工品「薄板」の魅力を多くの人に知ってもらいたいという思いが今日まで続けてこられたとの事。昭和47年、大阪の商事会社を退職され、お父さんが始められた「薄板」制作を継ぐことになりました。(昭和50年代富貴地区では10軒ほど存在)「薄板」とは、松の原木を機械で厚さ0.15mmに削り、10日ほど自然乾燥させた美しい木目調の製品です。松の殺菌作用に加え、通気、保温、防水性に優れていることから主に食品包装に使われてきました。しかしながら、材料となる松が松茸栽培などに押し切り出されることがなくなりました。更に、近年ビニール製品や安価な中国産が入り、「薄板」づくりの需要が減少してしまいました。また、松茸を栽培する山から松を切り出せなくなり、おまけに杉や檜の植林が増え、松の原木を手に入れることが難しくなって、岐阜産を使っているのが現状だそうです。

お父さんがはじめた「薄板」づくり、この薄板の魅力を多くの人に知ってもらいたいと、広めたいと試行錯誤していた時、高山山ツアーメーカーが開催されました。平成22年の10月の事です。弁当包装の制作依頼を受ける事となりました。朔付けせず組み立てることできる2枚一組の十字型弁当包装を作ることができました。(意匠登録出願済み)ところが、原木の製材作業中木材の下敷きになり両足を骨折してしまいました。仕方なく廃業まで考えていましたが、「他に薄板づくりをする人がいない、薄板の魅力を守ってほしい、是非続けてほしい」と励まされ、顧客の方々の強い要望もあり、今は、ご夫婦で頑張りが続いております。今後も、「薄板」の利用が広がっていくよう応援したいと思います。

・花冷えの御徳香を手に老人会
＊地域活動では、東部老人会の会長を20年間務められて、奥ノ院戦没者慰霊碑の清掃など地域に貢献されています。

【文化功労賞】中谷 富代様 高野町南在住 『衣管理に長年万全を期してこられて』

昭和57年6月、金剛峯寺内事として採用されました。以来今日まで35年に亘り7代の納所さんに仕えてこられ、山本裏方役として、なくてはならない人となりました。業務は、本山各種行事の調理や接待、茶業接待、清掃、堂司(学生)の世話、風呂掃除、衣帯の保護や手入れ、貸し出し及び整理等々があり、あらゆる用務に万全を期してこられました。その所作は、常に笑顔を絶やさず、多くの人たちから慕われてきました。

特に昭和59年の大法会に使用された衣や帯が今日まで使われてこられたのは、中谷さんの手入れによるものと、歴代の法会部長さんや法衣店の方々が無償で保管されているところ。今回の受賞対象となったのは、諸業務の中でも衣帯の保護や手入れ、手直し、及び保護・管理、貸し出し、更には、各種外部団体の衣装の手入れ、及び保護・管理、各種行事の着付けと、中谷さんとしては、誰もかかわない業務となっていることです。いつまでもお元気で、これらの業務を遂行されることと、後進者を育てていただくことをお願いします。最後に、中谷さんは信仰心に篤く、神具や、開創大法会には法会用備品を奉納されるなど物心両面から、山本裏方役を勤めてこられていることをお伝えします。

とが難しくなって、岐阜産を使っているのが現状だそうです。お父さんがはじめた「薄板」づくり、この薄板の魅力を多くの人に知ってもらいたいと、広めたいと試行錯誤していた時、高山山ツアーメーカーが開催されました。平成22年の10月の事です。弁当包装の制作依頼を受ける事となりました。朔付けせず組み立てることできる2枚一組の十字型弁当包装を作ることができました。(意匠登録出願済み)ところが、原木の製材作業中木材の下敷きになり両足を骨折してしまいました。仕方なく廃業まで考えていましたが、「他に薄板づくりをする人がいない、薄板の魅力を守ってほしい、是非続けてほしい」と励まされ、顧客の方々の強い要望もあり、今は、ご夫婦で頑張りが続いております。今後も、「薄板」の利用が広がっていくよう応援したいと思います。



高野町中央公民館長 角濱 正和

新年明けましておめでとうございます。凛とした寒さの中、皆様におかれましては、新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。生涯学習社会の課題の一つに少子高齢化への対応が望まれる昨今であります。我が国では高齢化が更に進むことが予測され、「高齢社会白書」によると、平成42年には65歳以上の高齢者人口が3,700万人近くになると予想されています。単に長生きするだけでなく、人生の後半をみんなが楽しく元気に充実して生きることが大切である事は言うまでも無く、体力や運動能力の維持と共に、生活習慣病にならないことが望まれています。自己充実に生涯学習の推進もさることながら、無縁社会、限界集落という用語がマスコミを賑わしてしまっています。少子高齢化の進展の中で求められている地域の新たな触れ合い、支え合い、助け合いを再構築し、コミュニティづくりを進めるためには、老若男女が集い、交流できる地域住民の茶の集い、つまり場機能を持つ「縁」を開所し、早一年が経ちます。「縁」を大いに利用していただき、公民館が人と人、人と地域を結ぶコーディネーターとしての役割を担い、それぞれの地域のニーズに合った公民館活動の展開が望まれるところでもあります。皆様との協力を願い、活力あるコミュニティと魅力ある街づくりを目指したいと思います。ますます健康を意識して、健康に関わる知識やスキルを求めることが重要です。私たちは公民館活動を通して、支援いたします。「いたすらに過ぎるす月日の多けれど道も求める時ぞ少なき」 道元 本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。